



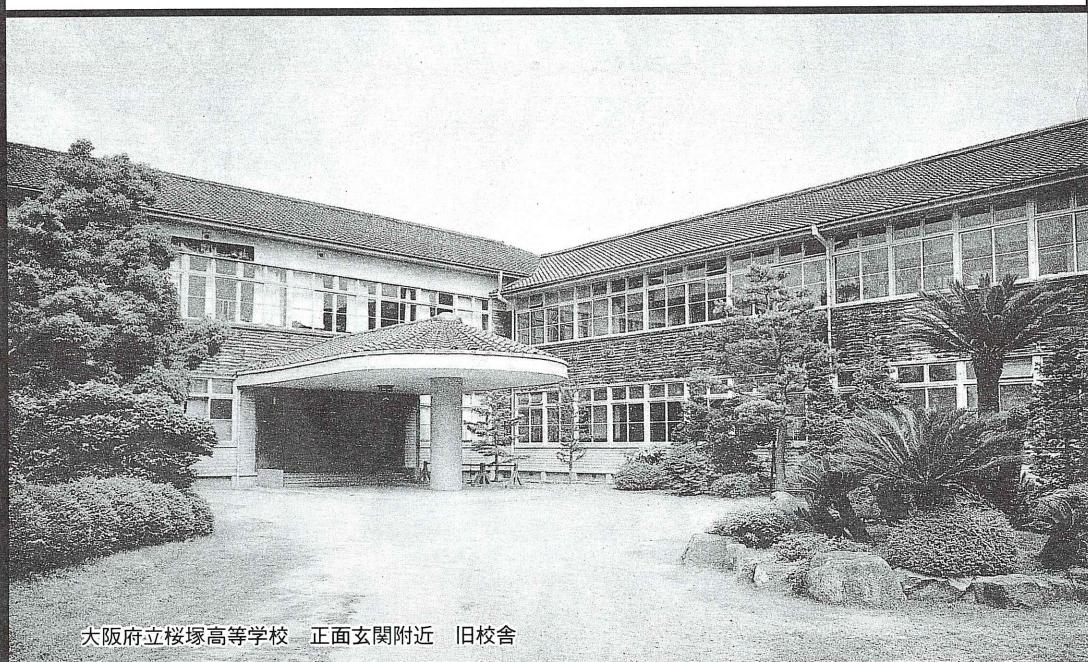
大阪府立桜塚高等学校 正面玄関附近 新校舎

# 尚和会報

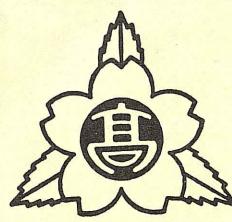
60周年記念特集号

97

平成9年4月1日



大阪府立桜塚高等学校 正面玄関附近 旧校舎



発行 尚和会

発行責任者 萩野哲男

編集責任者 田中渡





平成9年4月1日

## 尚和会報

ながら同期のため参加させていた  
だきました。この席で、校歌を作  
詞・作曲されたお二人にお会いす  
ることができ、苦労話を聞きなが  
ら、桜塚の良き時代の一頁に触れ  
た思いがいたしました。

桜塚の部活動は盛んで、府下で  
も有数ですが、放課後、校  
庭にひびく若者らしい歓声に、こ  
れが高校生などの印象を強くし、  
誇りに思つてきました。

私は部活動の成果を問う公式戦  
には可能な限り参加し、生徒諸君  
と感動を共にしてきましたが、多  
くの卒業生の皆さんにも応援して  
いたいたことを有難く思い、皆  
さんの母校に寄せる思いを肌で感  
じることができました。

毎年の尚和会総会の開催にあたつ  
ては、多くの卒業生の方々が参加  
され、盛大な会報の発送にあたつ  
ておられたのも印象的でした。

このように、桜塚は長い伝統に  
培われて今日に至つておりますが、  
その底流にあるのは知・徳・体の  
バランスのとれた人間形成を標榜  
してきました。

二十一世紀が指呼の間にあり、  
激動する社会に柔軟に対応できる  
人材が数多く育つていていることを頼  
もしく思っています。

桜塚が六十周年を期に、さらには  
一層飛躍・発展されることを期待  
いたします。

## 少し、うぬぼれて

初代尚和会会長 矢野鈴子

とにかくゴム毬のように毎日城  
東線（環状線）大阪駅の階段をか  
け上りました。昭和十二年当時、  
森之宮にあった陸軍砲兵工廠の工  
員さんや他校の生徒の混雜する国  
電でもみくちやにされ桃谷駅で下  
車。一年間生野高女にあつた阪校

舍へ急ぎました。人混みに足を取  
られ線路に片方の靴を落とした事  
もありました。私達一期生は一年  
から卒業する迄常に学校の代表  
でした。府立校連合体育祭、音楽  
コンクール、各校の最上級生が毎  
年伊勢神宮へ参拝する行事があり  
ましたが、私達は毎年背のびしな  
がら揃いのリュックを背に参道を  
進みました。

日本一の学校に創立当時より  
指導して下さった先生方。それ  
にたえるようによつとうぬぼれ  
て燃えた私達でした。明朗、敬虔、  
奉仕の校風のもと緑色のリボンの  
胸を大きく張つて小さな体で大舞  
台に臨みました。府立十四高女生  
であるといううぬぼれば、舞踊生  
活六十年越えた現在でも、チヨ  
ンと折が入り舞台に出て瞬間衣裳  
の衿に緑のリボンをつけた気分に  
なります。昭和二十八年はからず  
も尚和会初代会長をお引受けした  
時も、私を助けて頂いた諸先生方  
や大学生姿の役員の皆さんと共に、  
若い力で燃えました。学校創立、  
尚和会創設と、今日の大世帯の苦  
労にくらぶべきもありませんが、  
や大学の役員の皆さんと共に、  
未完成なりに一生懸命でした。其  
の後激動の時代を乗り切り二十一  
世紀も目前になりました。府立十  
四高女、豊中高女、桜塚高校と名  
は変わりましたが、六十周年の歴  
史に誇りをもつて更に七十年、八  
十年と発展いたしますよう……

創立六十周年のお祝を謙遜し  
つ少しうねばれて申し上げます。

母校創立60周年によせて

第五代尚和会会長 木村益子

一九九七年、そして私も七十才、  
この二つ周期によせて特に桜塚  
での思い出、尚和会での回顧を想  
うと共に未來を想像します。さて  
子供の頃から綺麗なものが大好き  
特に体につけるものに創意工夫す  
るのが趣味だった私は配色とデザ  
インにこだわり続けてとうとうコ  
スチュームの道を選ぶのですが、  
その一つの起因に豊女時代、速水  
俊子先生との出会いをあげる事が  
出来ます。当時は軍国主義の時代。  
でも師は生徒の独自の発想個性を  
高く評価する全くの自由主義。洋  
裁の時間に私を起用されたのです。  
「何枚か子供服を描いて来なさい」  
貴女なら出来るでしよう

いと依頼を受けて大喜び、徹夜で等  
身大のイラストを数枚提出。それ  
を子供服作図のテキストとして紹  
介されるので大驚きました。ものそ  
の後、機に同級生もハッスル、各人  
のデザインをする生き生きとした  
授業になつたのです。生徒が  
やる気を出す生きた教育。画一化

された時代にあっても実技の時間  
はジョークも含めくり抜げられた  
のです。笑いや楽しげ一杯の教室、  
緑と太陽光線に守られた校舎、校  
庭、そして先生方による明るい真  
生活も、いろんな流れがあると  
思います。今自分がどの流れの中  
にはいるかという事を敏感に察知  
し、周りからいろいろな流れがあ  
ると思います。今自分がどの流れ  
の中に入つて行くかという事を敏  
感に察知します。

生きてる限りグローバルな時代  
に根なし草になつてしまわない為  
に頑張りたいと思います。

俳句 塚田京紅

窓近く鶴鳴き過ぎぬ雪催  
悴みて言葉省きてゐたりけり  
恍惚と雪降りつもるかこひ葱  
春侍つや友と集ひ日の決まる  
小春日や青竹をも垣根結ひ

母校創立60周年によせて

第六代尚和会会長 越水ユリ

一九九七年、そして私も七十才、  
この二つ周期によせて特に桜塚  
での思い出、尚和会での回顧を想  
うと共に未來を想像します。さて  
子供の頃から綺麗なものが大好き  
特に体につけるものに創意工夫す  
るのが趣味だった私は配色とデザ  
インにこだわり続けてとうとうコ  
スチュームの道を選ぶのですが、  
その一つの起因に豊女時代、速水  
俊子先生との出会いをあげる事が  
出来ます。当時は軍国主義の時代。  
でも師は生徒の独自の発想個性を  
高く評価する全くの自由主義。洋  
裁の時間に私を起用されたのです。  
「何枚か子供服を描いて来なさい」  
貴女なら出来るでしよう

いと依頼を受けて大喜び、徹夜で等  
身大のイラストを数枚提出。それ  
を子供服作図のテキストとして紹  
介されるので大驚きました。ものそ  
の後、機に同級生もハッスル、各人  
のデザインをする生き生きとした  
授業になつたのです。生徒が  
やる気を出す生きた教育。画一化

された時代にあっても実技の時間  
はジョークも含めくり抜げられた  
のです。笑いや楽しげ一杯の教室、  
緑と太陽光線に守られた校舎、校  
庭、そして先生方による明るい真  
生活も、いろんな流れがあると  
思います。今自分がどの流れの中  
にはいるかという事を敏感に察知  
し、周りからいろいろな流れがあ  
ると思います。今自分がどの流れ  
の中に入つて行くかという事を敏  
感に察知します。

生きてる限りグローバルな時代  
に根なし草になつてしまわない為  
に頑張りたいと思います。

母校創立60周年によせて

第七代尚和会会長 高津弘

私は尚和会の皆様方や学校関係  
の方々のご協力のお陰で母校の創  
立五十周年を恙なく勤めさせて頂  
いてから早いものでもう十年が過  
ぎました。この年の五月に母を亡  
くして居りそれと重ねて考える訳  
ではありませんが、十年ひとむか  
して云いましょうか誠に感慨深い  
ものがございます。あの頃を振り  
返ってみますと周年事業などにあ  
つては入念な企画から立案・そ  
してその執行へと理事役員が一致  
協力して頑張つたものです。一番  
早く取りかかったのが同窓会名簿  
の発行でした。村上副会長の名簿  
委員会を中心に二年近くに渡つて  
しての執行へと理事役員が一致  
協力して頑張つたものです。一番  
早く取りかかったのが同窓会名簿  
の発行でした。村上副会長の名簿  
編集と校正、そして販売と夫々作  
業を分担して頑張りました。谷田

第八代尚和会会長 谷田探成

私は尚和会の創立六十周年を心  
よりお祝い申し上げます。

「光陰矢の如し……」とは古人の名  
言ですが、還暦もとつくな過ぎた  
身には、高校時代は遠い昔になつ  
てしましました。

我々三期生は丁度戦後の中学生  
のため、男子校より當時女学校  
であった母校へどかどかと、荒つ  
ぱく侵入した事も昔話となりまし  
た。

当時は創立十周年位で、美しい  
瓦とおちついた木造の何とも云え  
ないすばらしい校舎だつたと覚え  
ています。

その校舎も時代の流れと共に姿を  
消し、現在の鉄筋校舎にとつて代  
わられ既に二十年以上の歳月が経  
ちました。

青春時代の一頁を飾つて我々同  
窓生を育てくれた母校桜塚が更





# 尚和会会報

平成9年4月1日

(7)

## 鐘のひびき

### 古典部桜塚卒業生の会 “あすか会”

高七期生 妹尾節子

毎年のたつことの早いこと、桜塚創立六十周年一私たち古典OB会“あすか会”が再発足して昨秋二十周年を迎えた。

“あすか会”は桜塚古典部卒業生の会をつくろうと当時顧問だった国本照男先生にお願いして再発足したのが昭和五十年九月十三日、嵯峨野“花の家”でした。名称は日本文学発祥の地、明日香に因んで先生が命名、最初は十数名でしたが、桜塚卒業生で古典の好きな方ならどなたでも、現在四十四名の方が会員です。

国本先生は“万葉に生き万葉に死にたし”と願われ、日本人の尚ぶ、もののはれ”を榮えの美でなく“滅びの美”とした万葉集をこよなく愛され、古典への深い魅力を私たちに教えて下さいました。その後、年四回、古人の感動を追体験すべく、京都・奈良を中心にして近畿一円、万葉集の後を求めて大和路を、王朝文学に心惹かれて京洛など古典遺跡を訪ねてきました。見学会の資料や説明、会報づくりは全て先生まかせて今まで続きましたが、三年前先生の体調が悪くなり遠出、同行できなくなつたのは本当に残念でなりません。でも今まで続いた会をどうしても続けたいと願い例会は年二回と減りましたが、各期毎に世話役を担当、先生には、相談役を中心ひきうけてくださつたので継続していくことになりました。

例会が六十五回、あすか会報106号、会報づくりは今までどおり先生ですが、必ず古典へのいざないの文章や会員の短歌、近況などを書かれています。国本先生の健康をいといながら会員のみなさまが、一人でも多く参加し、一回でも長く例会を続けます。

（灰色）の青春を少しづつ取り戻しながら、平和な未来のために、私は精一杯歩いてきました。これからも“尚和会の不滅”を信じて歩き続けます。一母校創立六十年を迎え、高女一期生の（若い）胸中は私と同じだろうと思います。さらには、一期生であることにはかな誇りを持ち続ける向きもあるようです。クールな私は長い間、私達の高女一年入学と新設校十四高女誕生が同時だつただけのこと、單なる偶然。と片づけてきました。しかし最近になつて、仮称十四高女として一年間、生野高女の校庭の一隅の仮校舎に通学した私達だけが共有する思い出が甦る時、海のものとも山のものとも解らない新設校に最愛の子女の教育を託した両親たちの勇気に戸惑ふ。昭和四十九年ころから、旧交の頭の下がる思いです。

戦後の混乱期、復興期、高度成長期と文字通り苦難をくぐり抜けいくらか心身のゆとりが出来始めました。昭和四十九年ころから、旧交の頭の下がる思いです。

この間、年千円づつのカンパを惜しまなかつた金員に近い人たち、そして思い出のオリジナル文集も第一集、第二集と作成発行、その間

同期会は殆ど毎年開催、全員の総意を汲んでの運営でなければ：とアンケート調査も実施、これら

集大成として、創立六十周年記念に、尚和会への寄付二十万円と、名簿掲載広告料十万円を難なく実現することができました。

最後に、他界されました親愛なる恩師、同期生のかたがたのご冥福を祈ります。

桜塚卒業生でつくつてあることをご披露いたします。

### 仮称 大阪府立十四高女生 六十年の歩み

内藤純子

予約価格 3,500円(送料共)

販売価格 4,000円

規格サイズ A4判

会員の勤務先は掲載していません。

表紙：エメラルドグリーン

## 尚和

大阪府立豊中高等学校 尚和会  
大阪府立桜塚高等学校

未曾有の大震災で、仮住まいの方、再三お住いを変られた方も大勢いらっしゃいます。又、新郵便番号の実施で、この度の名簿は、委員の細心の努力でできました。今年（平成9年）卒業生も掲載。

尚、次回の会員名簿の発行は「10年後」の予定です。記念にぜひお求め下さい。

### 予約申し込み（3,500円）

所定の尚和会（母校創立60周年記念）振込用紙にてお申込み下さい。

お問合せ 名簿担当副会長 小川尚子

〒533 大阪市東淀川区淡路4-1-46

☎ 06-322-8353

# 同期会報

## 高女四期生会

### 卒業五十周年記念同期生会報告

幹事代表

栗原和子

私達四期生は平成七年が卒業五十周年を迎える年でしたが一月十七日の阪神大地震で見送りになつてしました。被害をお受けの方は多数おられましたが亡くなられた方が無かつたのが不幸中の幸だつたと思つております。

平成八年五月二十六日、美しい渓谷の温泉地武田尾で同期生会を致しました。その日はすばらしいお天気に恵まれ新緑、目にまぶしい思いで、身も心も洗われる心境でした。はるばる長野から酒井先生、又竹谷先生もお元気到着され、遠方の方々も大勢参加され盛りあがめました。

長岡さんの日頃またえられたシャンソンに耳を傾け、飛入りのカラオケに手拍子やら、一緒に口づさんだり、又、記念のクジ引きの景品に喜びますうちに時間が経ちおひらきになつてしましました。皆様の健康を願つて来年も又元気で会いましょと名残りを惜しみつて一応解散しました。

今回一泊を計画致しましたところ先生お二人共で有志十三名が残りました。皆様の空襲等、大変な時代を過ごして来ましたが、皆と語り合

昭和十五年春の入学から卒業まで、特に卒業間際の軍需工場への動員、敵の空襲等、大変な時代を経てきましたが、皆と語り合

平成八年五月二十六日(日)「豊中高女四期生卒業五拾周年記念」(於:武田尾「紅葉館」)



平成八年(1996)五月二十六日(日)「豊中高女四期生卒業五拾周年記念」(於:武田尾「紅葉館」)

えは苦しみも又楽しみに変わり、涙したり大笑したり楽しい一夜でした。

先生方も何時までもお健やかに、皆様方も健康第一に次回には一層大勢の方々がお集り下さるよう願っております。私共、たいていの方は満七十才(古希)を迎えます。

私達四期生は平成七年が卒業五十周年を迎える年でしたが一月十七日の阪神大地震で見送りになつてしました。被害をお受けの方は多数おられましたが亡くなられた方が無かつたのが不幸中の幸だつたと思つております。

平成八年五月二十六日、美しい渓谷の温泉地武田尾で同期生会を致しました。その日はすばらしい

お天気に恵まれ新緑、目にまぶしい思いで、身も心も洗われる心境でした。はるばる長野から酒井先

生、又竹谷先生もお元気到着され、遠方の方々も大勢参加され盛りあがめました。

長岡さんの日頃またえられたシャンソンに耳を傾け、飛入りのカラオケに手拍子やら、一緒に口づさ

んだり、又、記念のクジ引きの景品に喜びますうちに時間が経ちおひらきになつてしましました。

今回一泊を計画致しましたところ先生お二人共で有志十三名が残りました。皆様の空襲等、大変な時代を経てきましたが、皆と語り合

## 高六期生会

### 「還暦祝いパーティー」の記

高六期生 澤田作哉

私達高六期生は昭和十年、一一年生まれ、したがつて平成七年、八年が六十才の年となります。

社会では定年や映画代千円とか老人として遇されることになるの

ですが、私達はまだまだ若い気持ちで一杯、まわりの人達に還暦祝されるとくらくな自分達で人生のリニュアルパーティをしようと

の趣旨で、平成八年十一月十五日(金)夕方六時から大阪北新地ホテルモントレグラスマニアハウスに集まることになりました。

当日遠くは東京、広島からと七十余名が集まりました。会場を入れるとこの還暦祝いパーティーを迎えた重い年でしたが、皆様お元気でいらっしゃいますか。

十一期三年二組の第二回同窓会

を八年十一月二十二日豊中のアイボリー・ホテルにて開きました。出席者は十七名、昨年にしてよい

ケビングゲームをはじえあつという間に過ぎました。

今回は金曜日の夕方からのこと

で、ご都合が悪く欠席された方も

あるでしょうが、今年(平成九年)

は五月十八日に母校創立六十周年

記念総会、懇親会が大阪ヒルトン

ホテルで開催されます。その時に

はきっとお会いしましょう。

## 高校十一期クラス会報告

平成八年は、感染源が特定出来ない〇一五七に日本中が脅かされた重い年でしたが、皆様お元気でいらっしゃいますか。

十一期三年二組の第二回同窓会

を八年十一月二十二日豊中のアイボリー・ホテルにて開きました。出席者は恩師七名を含め百六名と從来

に比べ少し淋しい感じもしました。

しかし余興として落語家の卯「桂吉弥」さん(同期の新保君の甥)

の力を使借り、何とか無事に終える事が出来ました。

次回は四十周年ということになりますが、その時まで健康に留意

していただき、多数の方々と再会したいものです。

なお、今年五月十八日の尚和会

六十周年記念パーティーにも出来

るだけ参加していただくようお願

いします。

(世話人一同)

## 高校十三期生会

三十五周年同期会結果報告

去年九月二十一日(土)に五年ぶり

で同期会を開催致しました。台風の接近予報もあって、当日の参加

者は恩師七名を含め百六名と從来

に比べ少し淋しい感じもしました。

しかし余興として落語家の卯「桂吉弥」さん(同期の新保君の甥)

の力を使借り、何とか無事に終える

事が出来ました。

次回は四十周年ということになりますが、その時まで健康に留意

していただき、多数の方々と再会

したいものです。

なお、今年五月十八日の尚和会

六十周年記念パーティーにも出来

るだけ参加していただくようお願

いします。

(世話人一同)

## 高校十八期生会

卒業三十周年記念同期会報告

去年九月二十一日(土)に五年ぶり

で同期会を開催致しました。台風の接近予報もあって、当日の参加

者は恩師七名を含め百六名と從来

に比べ少し淋しい感じもしました。

しかし余興として落語家の卯「桂吉弥」さん(同期の新保君の甥)

の力を使借り、何とか無事に終える

事が出来ました。

次回は四十周年ということになりますが、その時まで健康に留意

していただき、多数の方々と再会

したいものです。

なお、今年五月十八日の尚和会

六十周年記念パーティーにも出来

るだけ参加していただくようお願

いします。

(世話人一同)

## 高校十八期生会

卒業三十周年記念同期会報告

去年九月二十一日(土)に五年ぶり

で同期会を開催致しました。台風の接近予報もあって、当日の参加

者は恩師七名を含め百六名と從来

に比べ少し淋しい感じもしました。

しかし余興として落語家の卯「桂吉弥」さん(同期の新保君の甥)

の力を使借り、何とか無事に終える

事が出来ました。

次回は四十周年ということになりますが、その時まで健康に留意

していただき、多数の方々と再会

したいものです。

なお、今年五月十八日の尚和会

六十周年記念パーティーにも出来

るだけ参加していただくようお願

いします。

(世話人一同)

## 高校十八期生会

卒業三十周年記念同期会報告

去年九月二十一日(土)に五年ぶり

で同期会を開催致しました。台風の接近予報もあって、当日の参加

者は恩師七名を含め百六名と從来

に比べ少し淋しい感じもしました。

しかし余興として落語家の卯「桂吉弥」さん(同期の新保君の甥)

の力を使借り、何とか無事に終える

事が出来ました。

次回は四十周年ということになりますが、その時まで健康に留意

していただき、多数の方々と再会

したいものです。

なお、今年五月十八日の尚和会

六十周年記念パーティーにも出来

るだけ参加していただくようお願

いします。

(世話人一同)

## 高校十八期生会

卒業三十周年記念同期会報告

去年九月二十一日(土)に五年ぶり

で同期会を開催致しました。台風の接近予報もあって、当日の参加

者は恩師七名を含め百六名と從来

に比べ少し淋しい感じもしました。

しかし余興として落語家の卯「桂吉弥」さん(同期の新保君の甥)

の力を使借り、何とか無事に終える

事が出来ました。

次回は四十周年ということになりますが、その時まで健康に留意

していただき、多数の方々と再会

したいものです。

なお、今年五月十八日の尚和会

六十周年記念パーティーにも出来

るだけ参加していただくようお願

いします。

(世話人一同)

## 高校十八期生会

卒業三十周年記念同期会報告

去年九月二十一日(土)に五年ぶり

で同期会を開催致しました。台風の接近予報もあって、当日の参加

者は恩師七名を含め百六名と從来

に比べ少し淋しい感じもしました。

しかし余興として落語家の卯「桂吉弥」さん(同期の新保君の甥)

の力を使借り、何とか無事に終える

事が出来ました。

次回は四十周年ということになりますが、その時まで健康に留意

していただき、多数の方々と再会

したいものです。

なお、今年五月十八日の尚和会

六十周年記念パーティーにも出来

るだけ参加していただくようお願

いします。

(世話人一同)



「昭和四十一年夏の高校野球で、奥田敏輝投手を擁する桜塚のチームが、準優勝戦（日生球場）で、江夏投手の大阪学院高校を一対〇で破り、北陽高校との再開決勝戦（日生球場）で惜しくも敗れた。」と当時の校長、秋永実先生は「五十周年記念誌」に書いておられる。筆者は、まだ幼い頃のことで、當時を知る由もない。さて、時は移つて平成八年十一月四日、豊中市営ローズ球場（旧豊島球場）完成記念行事の一環として、當時のメンバーによる伝説の一戦が再現された。秋晴れの爽やかな空の下、立ち見の出るほど満員の観客を集めてゲームは始	伝説のあの一戦、再び 現顧問 田名瀬 雅彦	全日制この十年

## 桜塚高校の歴史

昭和12年 (1937)

1月22日 大阪市東成区に「大阪府立第十四高等女学校」を設置。

3月 豊中市立克明第1小学校にて入学願書受付。

森之宮小学校で入学検査実施。

3月31日 大阪府立生野高等女学校（勝山高等旧校地）内に仮校舎を設ける。

昭和13年 (1938)

3月31日 学校の位置を豊中市に変更。第一期工事完了。

4月1日 「大阪府立豊中高等女学校」と改称。

昭和17年 (1942)

3月 第1期生卒業。同窓会として「尚和会」を設立。

昭和19年 (1944)

昭和2年生以上の生徒は次々に軍需工場へ勤労学徒として出動。

1年生は学校で農耕作業。

校舎を軍に接収された府立大手前高女及び海軍病院を受け入れ。

昭和23年 (1948)

4月1日 学制改革により「大阪府立桜塚高等学校」と改称。

9月30日 定時制課程発足。

昭和28年 (1953)

4月27日 修学旅行中、阿蘇山の噴火により6期生男子1名死亡、90余名負傷。

昭和31年 (1956)

4月 豊桜戦（豊中高校・桜塚高校の親善試合）始まる（昭和43年まで）。

昭和42年 (1967)

10月4日 創立30周年記念式典举行。

昭和45年 (1970)

3月28日 新体育館竣工。

昭和48年 (1973)

3月10日 校舎改築第1期工事着手。

11月30日 第1期工事完了。

昭和50年 (1975)

2月28日 校舎改築第2期工事完了（2号館）。

10月30日 第3期工事完了（3号館・渡り廊下）。

昭和51年 (1976)

9月30日 第4期工事完了（4号館）。

昭和52年 (1977)

4月 旧尚和会館を閉鎖。

11月9日 創立40周年記念式典挙行。

昭和53年 (1978)

6月9日 第5期工事完了（食堂棟 1階：食堂、2階：尚和会館）。

昭和54年 (1979)

6月13日 第6期工事完了（プール・グランド整備）新校舎完成。

昭和62年 (1987)

11月21日 創立50周年記念式典を挙行。

平成3年 (1991)

5月25日 『戦争と平和』市民の記録（日本図書センター）第5巻として「ほむら野に立つ」が公刊される。

平成7年 (1995)

1月17日 阪神淡路大震災 本校校舎、体育館等に少なからず被害。生徒及び教職員の自宅にも被害あり。

震度は6だった

気象庁の発表は「大阪震度4」だけである。その後、各地の私設の震度計が値が、千里中央の大坂ガスの三一二ガル、大阪モノレールの三八六ガル、上新田小学の鉄筋コンクリートの校舎では震災はないと思われた。しかし想像を越える大きな被害を免れられた。

一九九五年一月十七日早朝に起こった阪神大震災は、ここ豊中にも大きな被害をもたらした。関西には地震はないとも多くの人は思っていた。少なくとも本校の南北方向に三〇・六カインを記録していた。

## 本校の被災状況

一月十七日 登校禁止  
ガラスの破損、各準備室の書棚倒壊、水道施設の破損等により生徒は登校禁止となつた。  
一月十八日 始業点呼のみ  
水道施設の破損による断水のため、始業時に点呼をして生徒全員を帰宅させた。  
一月十九日 午前中のみ授業  
断水によりトイレの使用ができず、半日授業して午後は帰宅させた。

## 生徒・職員の被災状況

生徒五名の自宅が全壊、二十四名の自宅が半壊。生徒の全壊半壊一四六八五世帯、死者六人、重軽傷者二四九六人であった。  
豊中市の人口は約四十万人である。市の震災状況は家屋の全壊半壊一四六八五世帯、死者六人、重軽傷者二四九六人であった。

## お便りから

会報作り、発送、いつもご苦労様です。当方、元気にやっています。

## 高女二期

君塚節子

一年遅れで、震災の大きさを会報で知り、今更乍らお見舞い申上げます。

## 高女三期

俣野(河井)加代

去年は激震地の中で心もズタズタだった時に、今年は少し落ち着いてきた暖かい日に、なつかしい会報がとどき心をなごませて下さいました。

## 高女五期

和氣(中村)恭子

何時もやさしい母校を何時かおとずれたいと思いつつ、係の皆々様に御礼を申し上げます。

## 高女五期

渡辺康子

ハンドボール部は活躍していいのでしょうか。旧高女時代はあんなに強かった部でしたのに…いろいろお世話さまになります。

## 高女五期

三浦(川上)智子

昨年六月四日「ほむら野会五十年慰靈祭」に参列させて頂きました折、旧友と五十年振りに再会しました。感激致しました。尚和会の御发展をお手伝いにまきました。役員席出来た事を感謝しています。有難うございました。

## 高女八期

石田芳江

元気で桜花会(六月六日)に出席してきました。有

高一期 深田(北之坊昭子)章子

仕事が急がしかつたり、体をこわしていだりで四十年振りに同窓会に出席させて頂き、先生方皆様方に会いできお元気なお姿を拝し喜んでおります。

## 高二期

脇野(中西)倭子

何時もお世話になって有難うございます。大阪を離れて二十八年にになります。会報をとても楽しみにしております。表紙の鶴崎先生の絵大変懐かしく嬉しく拝見しました。

## 高四期

加藤(藤家)美子

鶴崎先生のすばらしい椿と竹の画の表紙の会報をご送付賜りました。感無量で拝見致しました。平成七年度は、四百六十四名の方が四十八期生として、卒業なさいました由、四期生の私は六十二才となりました。昭和二十一年に豊中高女十期生として入学しました時鶴崎先生にお会いしまして、二十三年には桜塚高校となり、私達は、幸にも六年間美しい恩露園・恵風苑で青春を謳歌致しました。そして二十七年春鶴崎先生と握手をさせていたとき卒業致しました。鶴崎先生はじめ、皆々様の益々の御健勝とご活躍、桜塚高校のご发展を心よりお祈り申し上げます。(会員名簿発行を楽しみにしております。)大変で苦労をおかけ致し厚くお礼申し上げます。

## 高七期

迫田(野口)雅子

最近、母校のありがたさを感じます。高女期の方にお世話になることが多く、伝統と先輩に感謝しています。

## 高七期

中井喜信

会報楽しく拝読しました。四年より定年を迎えて、今何かと落ち着かない生活をして居ります。

高十一期 森(森島)幸子

いつも会報送って頂きありがとうございます。尚和会会報一頁に鶴崎熊太先生の美しい絵、とてもなつかしく拝見いたしました。お元気そうで、一度お会いしたい気持ちは一杯です。

## 高十二期

北奥(古川)博子

尚和会会報、毎回楽しく拝読いたします。通学路であった岡町商店街でいつも買物しております。

## 高十二期

原(辰田)登久子

時々車で側を通ります。なつかしい思い出いっぱいです。

## 高二十四期

石岡(山口)春子

いつも会報お送り下さいましてありがとうございます。二十八年間の教職をやめ、ベンチ間際に馬鹿城に落ち着きました。ボケ防止、生きがい生涯学習の一環としてヨーロッパ刺繡を学び楽しみながら皆さんに教えていきます。

## 高二十一期

小松(岩本)友代

長野に嫁ぎ二十二年になりました。市岡高校校長最後に現在吹田市に居住され七十才だそうです。千葉市中央区東千葉二丁目東千葉宿舎(0)号

高二十八期 西本(木下)麻子

いつも会報を送って頂きありがとうございます。尚和会会報一頁に鶴崎先生の美しい絵、とてもなつかしく拝見いたしました。お元気で、私も勤めに出ていました。でも三人の子供たちは元気で、私も勤めに出ています。近々引越しして新しい生活をスタートする予定です。

## 高三十期

川田 宏

高校時代は野球部に加入していました。食堂のおじさんは今も、亡くなりました。でも三人の子供たちは元気で、私も勤めに出ていました。食事のお金で、私があまり出て来ないのは残念です。

## 高三十二期

今井(宮脇)嘉子

いつも会報を送って頂きました。食堂のおじさんは今も、お元気で、私は元気で、私も勤めに出ていました。でも三人の子供たちは元気で、私も勤めに出ています。近々引越しして新しい生活を

け家の修理も完了し、道路の補修などバタバタしているうちに次女の入学入試も済みなんとか一息ついた所です。会報もゆっくり読みませんが、いつの日か、ゆっく

わしていだりで四十年振りに同窓会に出席させて頂き、先生方皆様にお会いできお元気なお姿を拝んでおります。

## 高二十九期

北野井(森)美枝子

いつも会報送って頂きました。毎年楽しみにしていました。

## 高二十六期

上島聟郎

転勤でオーストラリアへ行きましてその間は実家の方へお願いします。

## 高三十三期

多田恭之

尚和会役員の皆様、いつも会報があつた様で、遅くなりましたが、お見舞い申し上げます。

## 高三十六期

呂妻(福本)泰子

私は、上野小(豊中市立)校区の女子ソフトボールの代表・監督としてエンジョイしている今日この頃です。

いつも会報を送って頂きました。毎年楽しみにしていました。

いつも会報ありがとうございました。柳澤様、二十七期通信につかしく拝見しました。ありがとうございました。

## 高二十七期

神永(亀岡)恵子

いつも会報ありがとうございました。毎年楽しみにしていました。

## 高三十六期

久保(岡崎)里美

いつもお世話になつております。できればせっかくの名簿・新住所でお載せいただきたいのですが、いつ現在で作られるのでしょ

うございました。

会報作り、発送、いつもご苦労様です。当方、元気にやっています。

## 旧職員

中川幹雄

会報作り、発送、いつもご苦労様です。当方、元気にやっています。

## 高女二期

君塚節子

一年遅れで、震災の大きさを会報で知り、今更乍らお見舞い申上げます。

## 高女三期

俣野(河井)加代

去年は激震地の中で心もズタズタだった時に、今年は少し落ち着いてきた暖かい日に、なつかしい会報がとどき心をなごませて下さいました。

## 高女五期

和氣(中村)恭子

何時もやさしい母校を何時かおとずれたいと思いつつ、係の皆々様に御礼を申し上げます。

## 高女五期

渡辺康子

ハンドボール部は活躍していいのでしょうか。旧高女時代はあんなに強かった部でしたのに…いろいろお世話さまになります。

## 高女五期

三浦(川上)智子

昨年六月四日「ほむら野会五十年慰靈祭」に参列させて頂きました折、旧友と五十年振りに再会しました。感激致しました。尚和会の御发展をお手伝いにまきました。役員席出来た事を感謝しています。有難うございました。

高一期 深田(北之坊昭子)章子

いつもなつかしいニュースを送つて顶きました。尚和会会報一頁に鶴崎熊太先生の美しい絵、とてもなつかしく拝見いたしました。お元気で、一度お会いしたい気持ちは一杯です。

## 高二期

脇野(中西)倭子

何時もお世話になって有難うございます。大阪を離れて二十八年にになります。会報をとても楽しみにしております。表紙の鶴崎先生の絵大変懐かしく嬉しく拝見しました。

## 高四期

加藤(藤家)美子

鶴崎先生のすばらしい椿と竹の画の表紙の会報をご送付賜りました。感無量で拝見致しました。平成七年度は、四百六十四名の方が四十八期生として、卒業なさいました由、四期生の私は六十二才となりました。昭和二十一年に豊中高女十期生として入学しました時鶴崎先生にお会いしまして、二十三年には桜塚高校となり、私達は、幸にも六年間美しい恩露園・恵風苑で青春を謳歌致しました。そして二十七年春鶴崎先生と握手をさせていたとき卒業致しました。鶴崎先生はじめ、皆々様の益々の御健勝とご活躍、桜塚高校のご发展を心よりお祈り申し上げます。(会員名簿発行を楽しみにしております。)大変で苦労をおかけ致し厚くお礼申し上げます。

## 高七期

中井喜信

会報楽しく拝読しました。四年より定年を迎えて、今何かと落ち着かない生活をして居ります。

高十一期 森(森島)幸子

いつも会報送って頂きました。尚和会会報一頁に鶴崎熊太先生の美しい絵、とてもなつかしく拝見いたしました。お元気で、一度お会いしたい気持ちは一杯です。

## 高十二期

北奥(古川)博子

尚和会会報、毎回楽しく拝読いたします。通学路であった岡町商店街でいつも買物しております。

## 高十二期

原(辰田)登久子

時々車で側を通ります。なつかしい思い出いっぱいです。

高一期 深田(北之坊昭子)章子

わしていだりで四十年振りに同窓会に出席させて頂き、先生方皆様にお会いできお元気なお姿を拝んでおります。

## 高二期

脇野(中西)倭子

一年遅れで、震災の大きさを会報で知り、今更乍らお見舞い申上げます。

## 高女三期

俣野(河井)加代

去年は激震地の中で心もズタズタだった時に、今年は少し落ち着いてきた暖かい日に、なつかしい会報がとどき心をなごませて下さいました。

## 高女五期

和氣(中村)恭子

何時もやさしい母校を何時かおとずれたいと思いつつ、係の皆々様に御礼を申し上げます。

## 高女五期

渡辺康子

ハンドボール部は活躍していいのでしょうか。旧高女時代はあんなに強かった部でしたのに…いろいろお世話さまになります。

## 高女五期

三浦(川上)智子

昨年六月四日「ほむら野会五十年慰靈祭」に参列させて頂きました折、旧友と五十年振りに再会しました。感激致しました。尚和会の御发展をお手伝いにまきました。役員席出来た事を感謝しています。有難うございました。

高一期 深田(北之坊昭子)章子

わしていだりで四十年振りに同窓会に出席させて頂き、先生方皆様にお会いできお元気なお姿を拝んでおります。

## 高二期

脇野(中西)倭子

一年遅れで、震災の大きさを会報で知り、今更乍らお見舞い申上げます。

## 高女三期

俣野(河井)加代

去年は激震地の中で心もズタズタだった時に、今年は少し落ち着いてきた暖かい日に、なつかしい会報がとどき心をなごませて下さいました。

## 高女五期

和氣(中村)恭子

何時もやさしい母校を何時かおとずれたいと思いつつ、係の皆々様に御礼を申し上げます。

## 高女五期

渡辺康子

ハンドボール部は活躍していいのでしょうか。旧高女時代はあんなに強かった部でしたのに…いろいろお世話さまになります。

## 高女五期

三浦(川上)智子

昨年六月四日「ほむら野会五十年慰靈祭」に参列させて頂きました折、旧友と五十年振りに再会しました。感激致しました。尚和会の御发展をお手伝いにまきました。役員席出来た事を感謝しています。有難うございました。

高一期 深田(北之坊昭子)章子

わしていだりで四十年振りに同窓会に出席させて頂き、先生方皆様にお会いできお元気なお姿を拝んでおります。

## 高二期

脇野(中西)倭子

一年遅れで、震災の大きさを会報で知り、今更乍らお見舞い申上げます。

## 高女三期

俣野(河井)加代

去年は激震地の中で心もズタズタだった時に、今年は少し落ち着いてきた暖かい日に、なつかしい会報がとどき心をなごませて下さいました。

## 高女五期

和氣(中村)恭子

何時もやさしい母校を何時かおとずれたいと思いつつ、係の皆々様に御礼を申し上げます。

## 高女五期

渡辺康子

ハンドボール部は活躍していいのでしょうか。旧高女時代はあんなに強かった部でしたのに…いろいろお世話さまになります。

## 高女五期

三浦(川上)智子

昨年六月四日「ほむら野会五十年慰靈祭」に参列させて頂きました折、旧友と五十年振りに再会しました。感激致しました。尚和会の御发展をお手伝いにまきました。役員席出来た事を感謝しています。有難うございました。

高一期 深田(北之坊昭子)章子

わしていだりで四十年振りに同窓会に出席させて頂き、先生方皆様にお会いできお元気なお姿を拝んでおります。

## 高二期

脇野(中西)倭子

一年遅れで、震災の大きさを会報で知り、今更乍らお見舞い申上げます。

## 高女三期

俣野(河井)加代

去年は激震地の中で心もズタズタだった時に、今年は少し落ち着いてきた暖かい日に、なつかしい会報がとどき心をなごませて下さいました。

## 高女五期

和氣(中村)恭子

何時もやさしい母校を何時かおとずれたいと思いつつ、係の皆々様に御礼を申し上げます。

## 高女五期

渡辺康子

ハンドボール部は活躍していいのでしょうか。旧高女時代はあんなに強かった部でしたのに…いろいろお世話さまになります。

## 高女五期

三浦(川上)智子

昨年六月四日「ほむら野会五十年慰靈祭」に参列させて頂きました折、旧友と五十年振りに再会しました。感激致しました。尚和会の御发展をお手伝いにまきました。役員席出来た事を感謝しています。有難うございました。

高一期 深田(北之坊昭子)章子

わしていだりで四十年振りに同窓会に出席させて頂き、先生方皆様にお会いできお元気なお姿を拝んでおります。

## 高二期

脇野(中西)倭子

一年遅れで、震災の大きさを会報で知り、今更乍らお見舞い申上げます。

## 高女三期

俣野(河井)加代

去年は激震地の中で心もズタズタだった時に、今年は少し落ち着いてきた暖かい日に、なつかしい会報がとどき心をなごませて下さいました。

## 高女五期

和氣(中村)恭子

何時もやさしい母校を何時かおとずれたいと思いつつ、係の皆々様に御礼を申し上げます。

## 高女五期

渡辺康子

ハンドボール部は活躍していいのでしょうか。旧高女時代はあんなに強かった部でしたのに…いろいろお世話さまになります。

## 高女五期

三浦(川上)智子

昨年六月四日「ほむら野会五十年慰靈祭」に参列させて頂きました折、旧友と五十年振りに再会しました。感激致しました。尚和会の御发展をお手伝いにまきました。役員席出来た事を感謝しています。有難うございました。

高一期 深田(北之坊昭子)章子

わしていだりで四十年振りに同窓会に出席させて頂き、先生方皆様にお会いできお元気なお姿を拝んでおります。

## 高二期

脇野(中西)倭子

一年遅れで、震災の大きさを会報で知り、今更乍らお見舞い申上げます。

## 高女三期

俣野(河井)加代

去年は激震地の中で心もズタズタだった時に、今年は少し落ち着いてきた暖かい日に、なつかしい会報がとどき心をなごませて下さいました。

## 高女五期

和氣(中村)恭子

何時もやさしい母校を何時かおとずれたいと思いつつ、係の皆々様に御礼を申し上げます。

## 高女五期

渡辺康子

ハンドボール部は活躍していいのでしょうか。旧高女時代はあんなに強かった部でしたのに…いろいろお世話さまになります。



平山美津子 若槻静子	高女五期
松岡昭代 野村喜美子	二宮昌子
坂本陽子 伊藤久子	荒木真智子 加藤恵美
井上範子 渡辺康子	宮里絢子 西川良子
榎本富美子 藤野和子	坂本陽子 浦野和子
藤平レイ子 進藤鉢代	吉村久子 山本淑
鶯見マヤ子 田中素子	小尾喜代子 出口珠子
指尾千枝 高女八期	沢月和子 星野寛子
大原幸子 三好美代子	吉村久子 田中素子
吉村久子 西田芳江	阿部久美子 柳美津子
中村一美 高一期	小嶋京子 井上明子
深田章子 高二期	高女八期
西田陽子 岩橋久美子	高女八期
中村一美 岩方喜恵子	高女六期
星野寛子 岩崎文彦	高女六期
柳美津子 中山美代子	高女五期
阿部久美子 横道満子	高六期
柳美津子 本宮八重子	高六期
小口百子 兵頭恵美子	高六期
藤波純子 黒川由美子	高六期
横道満子 中山美代子	高六期
兵頭恵美子 多幡貞子	高六期
黒川由美子 外海久美子	高六期

森田隆子  
藤本久子  
長岡郁江  
吉崎智映子  
和氣恭子  
多田光子  
高橋典子  
中林公子  
西村純子  
土井富士江  
佐野幸子  
疋田愛子  
小沢典子  
菅原秋子  
馬場文子  
秦順子  
喜多靖子  
大森英子  
須藤和子  
野崎悦子  
堀川隆子  
上林秀子  
方寿美子  
三木幸子  
沼田英子  
矢野磨智子  
三浦容子  
宮本博子  
松山滋子  
平井郁子  
小川峯子  
石毛納子  
岡本秀子  
山科礼子  
池崎邦夫  
西川信子  
生島英子  
溝口汪子  
齋藤節子  
植田泰子  
山本竜子  
島田恵子  
川西秀夫  
西田明子

(高七期) 石原知恵子	(中井喜信) 渡部博子	(磯京子) 近藤亮子	(高八期) 仁木悦子	(高一期) 迫田雅子
(高二期) (高二十九期) 石原知恵子	(清公子) 福田千恵子	(高九期) 萩原康爾	(高十期) 伊藤淳子	(高十一期) 倉内知恵子
(高二期) (高二十八期) 藤原容美	(高十三期) 西島詩子	(高十四期) 柏原明子	(高十五期) 西島詩子	(高十二期) 島田喜代子
(高一期) (高二十七期) 北中美鈴	(高十六期) 菅原タカナ	(高十七期) 辻勢都子	(高十八期) 藤田昌子	(高十六期) 大城芳忠
(高一期) (高二十四期) 進藤修一	(高十九期) 上幸治	(高十九期) 薮内静夫	(高二十期) 田中富美子	(高二十期) 小泉たね子
(高一期) (高二十五期) 橋本泰子	(高二十期) 村上教子	(高二十期) 北野井美枝子	(高二十期) 北野井久恵	(高二十期) 中村久恵
(高一期) (高二十六期) (高二十四期) 北中美鈴	(高二十二期) 田中るり子	(高二十二期) 田中るり子	(高二十三期) 田中るり子	(高二十三期) 田中るり子

三浦昭夫  
土橋素子  
浅田美代子  
森田理恵子  
小田登子  
冨田あや子  
藤本芳子  
青井幸久  
岡安操  
徳宿隆子  
齊藤嘉明  
清位史子  
鶴田紀子  
北村富美子  
小出綾  
福井澄子  
加藤敏子  
原登久子  
北奥博子  
辻野佳子  
木村紀子  
藤田光之  
倉戸由紀子  
田中一男  
関谷幹夫  
林紀元子  
今泉元子  
大城裕二  
伊藤友子  
金指弘  
猪腰あかね  
狩野久代  
竹内イク子  
田中久義子  
池中映子  
池嶋由紀子  
籠谷庸子  
西木ひとみ  
田中貴子  
藤田幸仁  
島瀬雅子  
橋本明  
上島聰郎  
平岡忠剛  
神永恵子  
林佳子  
辺靖雄  
橋本明  
上島聰郎

川田 宏  
大野祐子  
横下 正  
今井嘉子  
鳥生幸子  
井上享子  
井上隆子  
吾妻泰子  
兵頭勝己  
辻井晴代  
加藤武司  
高田克義  
今井義代  
森山 仁  
花田治雄  
塙田廣一  
西岡 瞳  
中野泰子  
吉本純子  
吉野良子  
和田啓  
竹中和子  
久山寛子  
藤本正子  
大島裕子  
藤村静子  
鷺埜昭子  
酒井百利子  
那  
中西雅子  
村上  
浜  
廣瀬章子  
広島晴子  
島田博子  
守分康子  
田中雅子  
室谷玲子  
広谷信枝  
竹内三知子  
野田美代子  
神鳥あや

升本和子	石田マリ子
和田英子	間嶋紀子
鈴木真代子	高女八期
賀須井幸子	井上恒子
中務重子	櫻井尚子
橘田博子	桑木千鶴子
(高一期)	池永敏江
(高二期)	田中由子
(高三期)	木下千秋
(高四期)	橋守
井上博介	橘
(高六期)	大久保秀尾
岸本元子	高谷寿子
児玉保子	菊川芽子
福谷節子	松尾千恵子
野村敏子	高八期
高谷寿子	高九期
高一期	高十期
高十一期	高十四期
高十六期	山本文代
新保正秋	芝崎良子
高五期	岩田悦子
高十三期	境公子
高十七期	西川承子
高十八期	富川郁子
高十九期	門坂百合
高二十期	木川街枝子
高二十一期	山木幸子
高二十二期	高寺悦子

安井初美 衣川高子 漆崎美津江 渡辺良子 滝本佳代子  
川端安世 高橋薫子 大野富士子 小沢澄子 紫藤芳子  
平地郁子 近藤博子 北野敦子 池田豊子 池田豊子  
田中專一 貴田偉津子 坂本弘子 澤田作哉 柴田文雄  
水追千鶴子 遺藤光子 宇波久子 於勢幸子 北まち子  
西川昌平 小西桂子 生富セツ子 上野みづえ  
横井時親 藤田陽子 岩間楓子 中村孝一郎 荒木由美子  
木下圭子 松田仁子 田中佐智子 中村孝一郎 岡崎和子  
池田愛子 高橋陽子 村田秀二 佐藤節子 平田信之  
木下圭子 村田秀二 佐藤節子 佐藤節子

(高二十三期)	北川洋子
(高二十四期)	渡辺由実
(高二十五期)	小林佳代
(高二十六期)	稻垣弘子
(高二十七期)	大山美鈴
(高二十八期)	大城豊子
(高二十九期)	高三千一期
(高三十二期)	新村祥子
(高三十三期)	高三千一期
(高三十一期)	北澤哲夫
(高三十五期)	福岡久美子
(高三十六期)	二宮明美
(高三十六期)	岡崎康行
(高三十七期)	酒本和郎
(高三十八期)	下牧勢津子
(高三十九期)	松下和子
(高四十一期)	中野徳子
(高四十二期)	高山知之
(高四十三期)	宮本早苗
(高四十四期)	飯吉栄作
(高四十五期)	十倉伸二
(高四十六期)	高田正幸
(高四十七期)	高田正幸
(高四十八期)	高田正幸
(高四十九期)	高田正幸
(高五十期)	高田正幸
(高五十一期)	高田正幸
(高五十二期)	高田正幸
(高五十三期)	高田正幸
(高五十四期)	高田正幸
(高五十五期)	高田正幸
(高五十六期)	高田正幸
(高五十七期)	高田正幸
(高五十八期)	高田正幸
(高五十九期)	高田正幸
(高四十期)	高田正幸



## コピーと印刷のターザイ

営業品目 青写真／マイクロ／カラーコピー／印刷／和英ワープロ／製図

本 社 / 〒555 大 阪 市 西 淀 川 区 御 磐 島 1 丁 目 10-8 ☎ (06)471-3951(代)  
玉 川 支 店 / 〒553 大 阪 市 福 島 区 玉 川 4 丁 目 11-1 2 ☎ (06)443-7001(代)  
梅 田 支 店 / 〒531 大 阪 市 北 区 中 津 3 丁 目 7 番 3 号 (ビルコ 1 F) ☎ (06)372-2481(代)  
大阪駅前支店 / 〒530 大 阪 市 北 区 梅 田 1 丁 目 1 番 第 3 ビル 3 F 3 0 8 ☎ (06)344-1801(代)  
高麗橋 支 店 / 〒541 大 阪 市 中 央 区 高 蘭 橋 2 丁 目 4番11号(ヒガシビル 1 F) ☎ (06)222-3715(代)  
新 大 阪 支 店 / 〒532 大 阪 市 淀 川 区 西 中 島 1 丁 目 11-16(住商淀川ビル 1 F) ☎ (06)303-2133(代)  
O B P 支 店 / 〒540 大 阪 市 中 央 区 城 要 2 丁 目 1-61(ツイン21・MIDタワー7F) ☎ (06)947-5181(代)  
千里丘 支 店 / 〒566 大 阪 市 摂 滋 市 千 里 丘 5 丁 目 1 2 - 3 ☎ (06)380-6622(代)  
尼 尾 支 店 / 〒660 大 阪 市 福 島 区 西 長 津 川 3 丁 目 6 番 6 8 ☎ (06)481-8675(代)

新宿支店/〒160 東京都新宿区西新宿1丁目23-1(千葉ビル1F) ☎ (03)3343-5131(代)  
池袋支店/〒170 東京都豊島区東池袋2丁目6-11(第2アサビル1F) ☎ (03)3988-4886(代)  
蔵前支店/〒130 東京都墨田区石原3丁目22-6 ☎ (03)3829-4873(代)  
幕張支店/〒262 千葉県千葉市花見川区幕張本郷5-4-1(ESビル1F) ☎ (043)271-1867(代)

DAISEI CO.,LTD. 株式会社ダイセイ

専務取締役 鈴鹿常雄（高校四期）

## 名簿発行にかけて

名簿委員長 小川尚子

名簿の整理は、総務委員会で、怠り無く続けていましたが、平成七年七月二十九日に名簿委員会が、足し名簿作成準備が始まりました。震災後の住所不明、平成十年二月二日から新郵便番号実施という難題が湧いてきました。

どうせなら七桁番号入りの名簿を発行しようと当初の計画を半年延ばしこの春発行となり、細い手間の掛かる仕事、手づくり名簿の発行準備がはじまりました。

七年度は総務委員会三回、名簿委員会七回、小委員会三回と、八年度は総務委員会一回、名簿委員会はなんと十八回、小委員会三回、これからまだ三月に三回それから発送と続きます。

殆どの委員が総務・名簿兼務で出席はいつも二十名程、同じ頃ぶりです。今年は不明者リストのお陰で、住所判明も多くありました。今年は不明者リストのお陰で、住所判明も多くありました。お手伝い下さった委員のみなさまには、ご苦労おかけしています。よく頑張って下さったと感謝の念でいっぱいです。

有難うございました。発送までよろしくお願い申し上げます。若い期の方へ、委員に選ばれています。今年は、人まかせにしないで、できるだけ出席下さい。

### 名簿作りに携わつて

高九期 味舌純子

母校創立六十周年の平成九年春、同窓会名簿を発行する事になった。この十年間に同窓生も二万九千名以上に増え大変な作業になる事は想像出来た。

小川副会長を委員長に名簿委員会二十余名、平成七年より月二～三回尚和会館に集まり作業を進める。まず各期の代表に名簿を出して

もううようお願いするがなかなか集まらず五十周年の名簿を元に原簿作りから始める。

アイウエオ順に名前を書く人、それに丁番号、住所、電話番号を入れる人、出来上がりをチェックする人、最後には平成十年より施行される七桁の郵便番号も入った。

全ての作業に間違いのない名簿を作らねばという皆の思いが込められる。春の桜の頃、夏の暑い日爽やかで気持ちのいい秋、寒い冬と窓の外の季節は移り、いよいよ大詰、平成九年二月からは月に四五回集まり皆の努力が続く。

小川副会長の統率力と仕事の段取りの良さには目を見張るばかり。

それに毎回出席いただく二十余名の委員の半数近くは高女期の方と、本当に頭が下がる。

桜の咲く四月には素晴らしい名簿が出来上がるはず。

私達の汗と努力の結晶である名簿、会員の皆様、是非一冊お手許においてほしい!!

ご協力いただいた委員の皆様、本当にご苦労様でした。

本当に頑張って下さったと感謝の念でいっぱいです。

有難うございました。発送までよろしくお願い申し上げます。

若い期の方へ、委員に選ばれています。今年は、人まかせにしないで、できるだけ出席下さい。

\*できる限り出席して、リーダーの指導のもとに老眼鏡をかけて頑張っていますが、中々はかどりません。若い方(眼の良い)ですが、手分けしての作業も親睦になり、時間の許す限りお手伝いしたいと思っています。

\*他高では業者に任せているようですが、手分けしての作業も親睦になり、時間の許す限りお手伝いしたいと思っています。

\*名簿の整理作業は、数多く手間のかかる仕事、お手伝いできるのは、有難い事と思っています。

＊他の業者に任せているようですが、手分けしての作業も親睦になり、時間の許す限りお手伝いしたいと思っています。

します。場所は未定。同好会希望の方は幹事までご連絡下さい。

幹事 高十期 三上昌昭 ○六一八五三一一二五

「梅ちりゆきて」出版にあたり 高女一期 横本英子

坂ばかりの手稲山ろくが担当地区。冬の三ヶ月は雪道に苦労しますが、母子の笑顔で苦労は帳消し。今後もこの仕事を続けたいと思います。

教育功労者表彰 大阪府教育委員会は平成八年十一月三日、教育の振興に貢献した九百十一人を表彰した。

桜塚高校では学校教育活動協力者の部で茶道部の長谷川宗風先生(三三)が表彰された。

この意義ある年は、私にとりまでも、結婚五十年の記念の年になります。その前年に、私の自叙エッセイ「梅ちりゆきて」を出版し、お世話になつた方々にお贈りすることができます。これも、急に肌寒くなつた夜だったが、「まあ何年ぶりの人々に支えられて今日の幸せを得ることができたと感謝しております。この先短い人生ですが、平穡に過ごしていきたいと願つています」。

尚和会役員の皆様のご活躍を祈念いたします。

この先短い人生ですが、平穡に過ごしていきたいと願つています。

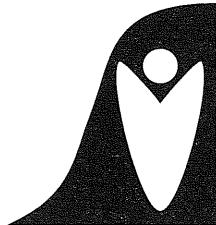
尚和会役員の皆様のご活躍を祈念いたします。

一般内科・整形外科・理学療法・皮膚科・健康診断

**安達クリニツク**

院医学博士 長士達

安達一哉 安達ゆかり 安達良子(高1期) TEL・FAX 06-358-1008



## 各期連絡先

期	氏名	電話	期	氏名	電話	期	氏名	電話
女1	越水ユリ	06-852-8755	高27	柳沢勤	06-976-6430	定14	杉本土生	0727-28-1497
女2	北川富美子	0798-74-3024	高28	市田隆士	0595-52-0715	定15	北浦修	06-333-4833
女3	若松栄	0727-62-6287	高29	寺田美智子	06-493-1282	定16	森島作成	06-857-6219
女4	小林三七子	0797-71-1064	高30	木村慶子	06-853-9213	定17	前田政治	06-855-8451
女5	馬渕千代	06-853-5181	高31	榎香世子	06-393-7216	定18	中島健二	0727-22-8153
女6	青木操子	06-843-2552	高32	竹田伊都子	06-332-4076	定19	飯田悦弘	06-855-3440
女7	黒田長子	06-854-5432	高33	池本清人	06-866-6789	定20	櫻原洋一	0727-21-1124
女8	中村陽子	06-844-1570	高34	山口誠	0720-94-1848	定21	児谷幸子	06-862-1946
高1	安達良子	0727-21-3901	高35	川嶋道代	0727-29-6099	定22	西田惣一	06-850-2955
高2	菊池美美	06-852-4117	高36	安藤昌博	06-832-7930	定23		
高3	谷田探成	06-314-0550	高37	高崎健治	06-623-6801	定24	日紫喜富美	
高4	鈴鹿常雄	06-843-7736	高38	堀田繁	06-841-0598	定25	大町裕次	06-862-7083
高5	宮口一郎	06-852-4859	高39	須崎広	0727-52-6441	定26	片山勝重	06-843-6443
高6	一色貞輝	06-852-3962	高40	浅谷美和	06-862-6896	定27	稻井幸雄	0727-28-0955
高7	川崎充康	0727-53-9518	高41	坂口大介	06-303-4831	定28	真下保	06-385-6190
高8	森田司朗	06-872-3329	高42	東紀江	06-371-5696	定29	寒川悟	06-607-0580
高9	古川智昭	06-848-6448	高43	横尾さち子	06-854-0026	定30	天涯池みゆき	06-333-5761
高10	唐渡吉則	0727-52-4548	高44	倉谷実	06-302-2184	定31		
高11	田中渡	06-852-2923	高45	田中嗣浩	06-854-3605	定32	高畠幸三	06-334-1243
高12	谷木光一	06-855-5858	高46	長安伸一	06-821-2661	定33	立花富美	0727-61-3323
高13	細川和彦	06-849-6879	高47	小窓善久	06-862-8874	定34	清水美佳	
高14	吉田裕理子	0727-51-5687	高48	川本将司	0727-34-2032	定35	浜田清文	06-864-6366
高15	大畠光昭	06-841-8135	高49	荒井純一	0727-52-2457	定36		
高16	中務公子	06-858-4509	定3	上田孝彦	06-853-2162	定37	渡部二郎	06-863-0058
高17	福本育馬	06-333-6636	定4	府上恵二	06-852-7122	定38	三浦智幸	
高18	北川悟司	06-843-1336	定5	橋本昌員	06-854-0234	定39	杉岡孝一	06-855-2508
高19	奥田敏輝	06-843-9397	定6	木田隆幸	06-864-2452	定40	大窓新治	0727-61-5528
高20	山中清利	0727-51-4408	定7	大倉晴夫	06-862-5752	定41	奥田康弘	06-388-7339
高21	山本登志恵	06-924-3544	定8	高木清伸	0722-50-6595	定42	菊永以言	06-853-6877
高22	平本裕一	06-855-2482	定9	大谷収	0720-44-2311	定43	日野原秀則	0727-24-5833
高23	後藤保二	06-373-7380	定10	長野昌子	06-844-0473	定44	大塚俊二	0727-62-7873
高24			定11	永井敏輝	06-852-0333	定45	山田敏夫	06-332-0572
高25	井上健	06-878-7393	定12	笹部修造	06-852-0475	定46	青木洋人	06-862-9946
高26	岸本勝重	06-855-4652	定13	中岸澄江	06-843-5737	定47		

より一層お願いします。  
すように皆様方のご協力とご支援  
していつまでも発行が継続できま  
す。尚和会員諸氏の情報交換誌と  
近い将来会報有料制となるのは必  
要とし、尚和会の年間予算の七  
割近くを計上する今です。尚和  
会の財政を考慮しますと、いざ  
印刷及び発送費にも多額の経費を  
必要とし、皆様方からの多くの寄稿  
各位のご協力を感謝いたします。

創立六十周年記念特集号発行に  
あたり、皆様方からの多くの寄稿  
をいただきありがとうございます。  
例年より一ヶ月早く会報をお  
送りするとのことで、原稿募集・  
編集・校正と日々忙しい中、関係  
会員諸氏も二九〇〇人を超え、  
必要とし、尚和会報有料制となるのは必  
要とし、尚和会の年間予算の七  
割近くを計上する今です。尚和  
会の財政を考慮しますと、いざ  
印刷及び発送費にも多額の経費を  
必要とし、皆様方からの多くの寄稿  
各位のご協力を感謝いたします。

## 編集後記

## 桜塚高等学校 創立60周年記念誌発行のお知らせ

## ●創立60周年記念誌(120ページ程度)

主な記事: 60周年の歴史 女学校から現在まで

全日制この10年／定時制この10年

自治会活動、文化祭、体育祭、クラブ活動など

本校の震災被害状況

## ●記念CD(5インチCD)

収録予定: 校歌(合唱・ピアノ伴奏カラオケ・吹奏楽)、高女校歌、  
学生歌、応援歌、岡町商店街の歌(23期フォーケソング部)  
吹奏楽部・箏曲部・フォーケソング部演奏、その他

発行予定: 平成9年11月15日(本校創立記念式典当日)

予定価格: 2,000円(2点セット、分売不可)

予約の場合は送料サービス

申込方法: 添付の振込用紙に氏名・期別・住所を明記の  
上、お申し込み下さい。  
5月18日の記念会当日にも受け付けます。

住宅資材有力メーカー代理店

株式会社 中央木材

よりよいものを、よりやすく、よりはやくおとどけします

〒666 川西市久代2-1-13 / TEL 0727-59-0500(代)

代表取締役 木田久也(高校5期)

# 祝・大阪府立桜塚高等学校創立60周年 尚和会記念総会のご案内

平成9年5月18日(日)

大阪ヒルトン(5F・桜の間)で!!

(JR大阪駅前 ☎06-347-7111)

- ◆ 総会 11:00 (受付10:30~)
- ◆ 立食パーティー 12:00~14:00
- ◆ アトラクション 『宮川 泰』のトークショウ
- ◆ 会費 10,000円 (新卒者5,000円)

お申し込みは、振込用紙にてお申し込み下さい。  
当日参加も受け付けます。



みやがわひろしプロフィール

テレビ時代の幕開け以来今日まで、常に第一線の音楽シーンをリードし続けてきた作・編曲家。

ジャンルを問わない、誰もが親しんだ曲を中心に取り上げお洒落なトークと軽妙なアレンジ。聴く人を楽しませてくれます。

